

安全データシート

【1. 製品及び会社情報】

製品名	パイプ洗浄剤 顆粒状タイプ
会社名	株式会社MonotaRO
住所	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M230329

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性固体	分類できない
金属腐食性	区分1

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分3
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2(神経系)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
水生環境有害性(急性・慢性)	区分外

環境に対する有毒性

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
金属腐食のおそれ
飲み込むと有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷
重篤な眼の損傷
神経系の障害のおそれ

注意書き 【安全対策】

- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を使用すること。
- 粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚を洗うこと。

【救急措置】

- ・ 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。直ちに医師の処置を受けること。
- ・ 眼に入った場合 : 直ちに水で数分間注意深く洗う。医師の処置を受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。
- ・ 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて医師の処置を受けること。

【保管】

- ・ 容器を密栓し換気の良い冷暗所にて保管すること。

【廃棄】

- ・ 内容物を完全に除去した後、地方、国、地域の法律及び規制に従って処分する。

他の危険有害性、重篤な徴候 : 特になし

【3. 組成及び成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量	化学式	CAS No.	安衛法No.	化審法No.
オルソケイ酸ナトリウム	85～95%	$2\text{Na}_2\text{O} \cdot \text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$	13472-30-5	該当物質なし	1-508
過炭酸ナトリウム	5～15%	$\text{Na}_2\text{CH}_3\text{O}_6$	15630-89-4	既存物質	1-143
水酸化ナトリウム	5%未満	NaOH	1310-73-2	既存物質	1-410
その他	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 口の中を十分にすすぐ、新鮮な空気のある場所に患者を移す。
必要に応じて医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類や靴などを脱がし、付着した部分を十分な水で洗い流す。この製品はアルカリ性の為、たんぱく質を侵食する作用があるので、患部はアルカリの滑りが取れるまで十分に洗浄する。可能であるならば温水を用いて洗浄するのが望ましい。
必要に応じて医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : きれいな水で少なくとも15分間は眼球や目蓋を洗浄する。
洗浄後、直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 口の中を十分にすすぐ、多量の水を飲み、無理に吐かせない。
直ちに医師の手当を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤: この製品自体は燃焼しない。
水、粉末及び泡など周辺の状況に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性: 加熱されると腐食性及び毒性のヒュームを発生する恐れがある。

特有の消火方法 : 速やかに製品を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。

消防を行う者の保護: 消火作業の際には必ず適した保護具を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周囲をロープ等で隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際には必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法

少量の場合、製品を可能な限り回収し、残分は多量の水で希釈して洗い流す。

大量の場合は、製品を可能な限り回収し、残分は多量の水で希釈して酸で中和($\text{pH} 5.8 \sim 8.6$)した後、洗い流す。

回収した廃棄物は、定められた処理方法に準じて処理を行う。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策：眼、皮膚あるいは衣類との接触を回避する為に、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋などの保護具を着用する。

作業を行う際は、換気設備のある場所で取り扱う。

取扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。

安全取扱い注意事項：アルカリ性のため、酸性の洗浄剤等との接触を避ける。

アルミニウムや亜鉛製品等の金属類は腐食する恐れがある。

保管

技術的対策：直射日光を避け、換気の良い冷暗所に密閉して保管する。

開封使用後は容器を密閉し、水・吸湿を避け保管する。

酸性製品と離して保管する。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度：未設定

許容濃度：日本産業衛生学会(2007年) 未設定

ACGIH(2007年) 未設定

設備対策：換気設備、排気設備

呼吸器の保護具：防じんマスク

手の保護具：ゴム手袋

眼の保護具：保護眼鏡(サイドシールド付き、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：長袖保護衣、ゴム長靴等

【9. 物理的及び化学的性質】

形状：固体(粉末)

色：白色

臭い：わずかに刺激臭

pH：約12.0(2%水溶液、20°C)

融点・凝固点：データなし

沸点：データなし

引火点：なし(不燃性)

発火点：なし(不燃性)

蒸気圧：データなし

比重(かさ密度)：0.5～0.7g/cm³

溶解性：水に可溶

n-オクタノール/

水分配係数：データなし

【10. 安全性及び反応性】

安定性：通常の条件下で安定

危険有害反応可能性：水との混合により、溶解して発熱する恐れがある。

酸と混触すると、反応して発熱及びゲル(シリカ)を生成する。

アルミニウムや亜鉛製品等の金属類に対し腐食性がある。

避けるべき条件：酸との接触、加熱、湿気

【11. 有害性情報】

(主要組成成分又は同じ成分系の情報を記載する)

急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ : 1280mg/kg(ケイ酸ナトリウム) (同じ成分系であるメタケイ酸ナトリウム: 区分4)
	経口 うさぎ LD ₅₀ : 325mg/kg(水酸化ナトリウム) (水酸化ナトリウム: 区分3)
経皮	データなし
吸入/粉塵	データなし
皮膚腐食性/刺激性	強アルカリで腐食性が強い。(ケイ酸ナトリウム) (同じ成分系であるメタケイ酸ナトリウム: 区分1)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼に入ると眼が刺激され、粘膜に炎症を起こす。 (同じ成分系であるメタケイ酸ナトリウム: 区分1)
吸引性呼吸器有害性	データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	(同じ成分系であるメタケイ酸ナトリウム: 区分2 神経系)

【12. 環境影響情報】

生態毒性

水生環境有害性	急性 (同じ成分系であるメタケイ酸ナトリウム : 区分外) 慢性 (難水溶性ではなく、急性分類が区分外である事から区分外)
残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	水を加えて希薄な水溶液とし、酸(希塩酸、希硫酸)などで中和した後 多量の水で希釈して処理する。 または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託して処理する。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去した後、地方、国、地域の法律及び規制に従って 処分する。

【14. 輸送上の注意】

国連番号:	3262
品名:	その他の腐食性物質(無機物、固体、アルカリ性のもの)
国連分類:	クラス8(腐食性物質)
容器等級:	等級III

国内規制

海上規制情報:	船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報:	航空法の規制に従う。

注意事項 :	酸との混載は避ける。 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない様に 積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
--------	---

【15. 適用法令】

労働安全衛生法:	労働安全衛生規則(安衛則)第326条 腐食性液体
(水酸化ナトリウム)	第57条 表示対象物/57条の2 通知対象物質
船舶安全法:	腐食性物質 危規則第3条 危険物告示別表第1
航空法:	腐食性物質 施行規則第194条 危険物告示別表第1
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法):	非該当

【16. その他の情報】

この安全データシートには、この製品を適切に使用する為に必要とされる一般的な注意事項についてまとめた情報を記載しています。この安全データシートに含まれる情報は、現在当社が入手している最新情報に基づいて作成しています。しかし、全ての化学物質は未知の危険性を有しており、記載している内容がこの製品の安全性を保証しているものではありません。使用に際しましては、十分に取扱いに注意し、安全な使用条件の設定を心掛けてください。